



学校だより

このまちの、すべてが教材です。

北海道大樹高等学校

〒089-2155 広尾郡大樹町緑町1番地

TEL 01558-6-2063 FAX 01558-6-2868

HP <http://www.taiki.hokkaido-ed.jp>

文責 校長・高橋 豊

前期終業式 本日より後期開始。明日は合唱祭！

本校は2学期制で、昨日で前期を終え、本日から後期となります。昨日は節目の行事として、前期終業式を行い、私から生徒には、各学年に対してメッセージを送り、全体には次のような話をしました。

今日で前期を終えました。まずは、この半年、よく頑張りました。授業、部活動、探究活動、行事、地域での学び……それぞれの場面で、皆さんが一生懸命に取り組む姿を、先生方はたくさん見てきました。

2つのことを伝えます。一つ目は「**自分は何者かを考えることの大切さ**」、二つ目は「**協働することの大切さ**」です。

皆さんは、最近「自分はどんな人なのか」を考えたことがありますか。どんなことが好きなのか、どんな場面で力を発揮できるのか、どんな人になりたいのか。こうしたことを考えることは、自己肯定感を高める大切な土台になります。

例えば、ある3年生の話をします。その生徒は私に「自分には特別な力なんてない」と言っていました。しかし、探究活動で班の話し合いをしている時、みんなの意見を丁寧にまとめる姿がありました。地域の方と話す時も、相手の言葉をしっかり受け止めて質問を返していました。周りの仲間から「君がいると話し合いが進むよ」と言われた時、その生徒は初めて「これが自分の力なのかもしれない」と気づいたそうです。

大きな成果でなくてもいい。目立つ才能でなくてもいい。自分の中にある「小さな強み」に気づくことが、自己肯定感につながります。

もう一つは、協働することの大切さです。大樹高校は、仲間と力を合わせて学ぶ学校です。おうちの方、地域の方々、先生方、仲間たち……多くの人が皆さん一人ひとりを支えています。

協働とは、「誰かと一緒により良いものをつくること」です。自分一人ではできないことも、仲間とならできる。仲間の意見を聞くことで、新しい考えが生まれる。誰かの力を借りることで、自分の弱さを補うことができる。そして協働は、自己肯定感とも深くつながっています。誰かと協力する中で、「自分の役割がある」、「自分がいることでチームが前に進む」そう感じられた時、人は自分を肯定できるようになります。

前期を終えた今、皆さんは確実に成長しています。自分の中にある力を見つめ、仲間と協力しながら、後期も一歩ずつ進んでいきましょう。大樹高校は、挑戦する皆さんを応援する学校です。皆さんの可能性は、まだまだ広がっていきます。後期も、皆さんと一緒に歩いていけることを楽しみにしています。一緒に頑張っていきましょう。

明日、合唱祭を大樹町生涯学習センターコスモスホールで開催します。

13:25 開場です。ご案内のとおり、昨日までの事前申込制でしたが、ご都合がついた保護者はじめ地域の皆様に歓迎します。お時間がありましたら、ぜひお越しください！